

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成24年3月8日(2012.3.8)

【公開番号】特開2011-57709(P2011-57709A)

【公開日】平成23年3月24日(2011.3.24)

【年通号数】公開・登録公報2011-012

【出願番号】特願2010-285808(P2010-285808)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/74 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/28 (2006.01)

A 6 1 P 17/02 (2006.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

A 6 1 P 1/02 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 K 9/107 (2006.01)

A 6 1 K 9/06 (2006.01)

A 6 1 K 9/12 (2006.01)

A 6 1 K 9/10 (2006.01)

A 6 1 K 9/14 (2006.01)

A 6 1 P 17/06 (2006.01)

A 6 1 P 9/14 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/74

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 37/26

A 6 1 P 17/02

A 6 1 P 1/04

A 6 1 P 27/02

A 6 1 P 1/02

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 9/107

A 6 1 K 9/06

A 6 1 K 9/12

A 6 1 K 9/10

A 6 1 K 9/14

A 6 1 P 17/06

A 6 1 P 9/14

【手続補正書】

【提出日】平成24年1月23日(2012.1.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

損傷した皮膚または皮膚創傷の治癒プロセスを誘導または促進するための局所適用用薬剤組成物を製造するためのコポリマー１の使用。

【請求項２】

該薬剤組成物が、更にＮ－ミリスティル化ＰＫＣ 偽基質阻害ペプチドまたはＮ－ミリスティル化ＰＫＣ 偽基質阻害ペプチドとインスリンの混合物を含む、請求項１に記載の使用。

【請求項３】

該薬剤組成物がコポリマー１及びＮ－ミリスティル化ＰＫＣ 偽基質ペプチドとインスリンの混合物を含む、請求項２に記載の使用。

【請求項４】

該薬剤組成物がコポリマー１及びＮ－ミリスティル化ＰＫＣ 偽基質ペプチドを含む、請求項２に記載の使用。

【請求項５】

皮膚創傷が、潰瘍、糖尿病関連の創傷、熱傷、日焼け、加齢による皮膚創傷、角膜潰瘍化による創傷、炎症性消化管疾患による創傷、腸炎症性疾患による創傷、クローン病による創傷、潰瘍性大腸炎、痔核、表皮水疱症による創傷、皮膚水疱形成性創傷、乾癬による創傷、動物の皮膚の創傷、動物の糖尿病による創傷、網膜症による創傷、口腔の創傷（粘膜炎）、腔粘膜炎による創傷、歯周病による創傷、裂傷、外科的切除による創傷、および外科的接着後の創傷からなる群から選択される、請求項１から４のいずれかに記載の使用。

【請求項６】

潰瘍が、糖尿病性潰瘍、褥瘡性潰瘍、静脈性潰瘍、胃潰瘍、およびＨＩＶ関連潰瘍からなる群から選択される、請求項５に記載の使用。

【請求項７】

薬剤組成物が、水溶液剤、ゲル剤、クリーム剤、ペースト剤、ローション剤、噴霧剤、懸濁液剤、粉末剤、分散液剤、膏薬、および軟膏剤からなる群から選択される、請求項１から４のいずれかに記載の使用。

【請求項８】

薬剤組成物が固体支持体を含む、請求項７に記載の使用。

【請求項９】

損傷した皮膚または皮膚創傷の治癒プロセスを誘導または促進するための局所適用用薬剤組成物であって、治療有効量のコポリマー１と、製剤上許容される担体とを含む薬剤組成物。

【請求項１０】

該薬剤組成物が、更にＮ－ミリスティル化ＰＫＣ 偽基質ペプチドまたはＮ－ミリスティル化ＰＫＣ 偽基質阻害ペプチドとインスリンの混合物を含む、請求項９に記載の薬剤組成物。

【請求項１１】

インスリンおよびインスリンと相乗的に作用する少なくとも１種のさらなる作用物質の、損傷した皮膚または皮膚創傷の治癒プロセスを誘導または促進するための局所適用用薬剤組成物を製造するための使用であって、

該作用物質は、Ｎ－ミリスティル化ＰＫＣ 偽基質ペプチド、ＰＤＧＦ、ＩＧＦ１、及びＰＫＣ ＲＡＣＫから選ばれ、

ただし、真皮閉鎖を誘発又は促進するための局所適用用薬剤組成物の製造においてはインスリンとＰＤＧＦの使用を除く、インスリンおよびインスリンと相乗的に作用する少なくとも１種のさらなる作用物質の、損傷した皮膚または皮膚創傷の治癒プロセスを誘導または促進するための局所適用用薬剤組成物を製造するための使用。

【請求項１２】

該作用物質が、Ｎ－ミリスティル化ＰＫＣ 偽基質ペプチドである、請求項１１に記載の使用。

【請求項 13】

該作用物質が、PDGFである、請求項 11 に記載の使用。

【請求項 14】

該作用物質が、IGF1である、請求項 11 に記載の使用。

【請求項 15】

該作用物質が、PKC RACKである、請求項 11 に記載の使用。

【請求項 16】

皮膚創傷が、潰瘍、糖尿病関連の創傷、熱傷、日焼け、加齢による皮膚創傷、角膜潰瘍化による創傷、炎症性消化管疾患による創傷、腸炎症性疾患による創傷、クローン病による創傷、潰瘍性大腸炎、痔核、表皮水疱症による創傷、皮膚水疱形成性創傷、乾癬による創傷、動物の皮膚の創傷、動物の糖尿病による創傷、網膜症による創傷、口腔の創傷（粘膜炎）、腔粘膜炎による創傷、歯周病による創傷、裂傷、外科的切除による創傷、および外科的接着後の創傷からなる群から選択される、請求項 11 から 15 のいずれか一項に記載の使用。

【請求項 17】

潰瘍が、糖尿病性潰瘍、褥瘡性潰瘍、静脈性潰瘍、胃潰瘍、および HIV 関連潰瘍からなる群から選択される、請求項 16 に記載の使用。

【請求項 18】

薬剤組成物が、水溶液剤、ゲル剤、クリーム剤、ペースト剤、ローション剤、噴霧剤、懸濁液剤、粉末剤、分散液剤、膏薬、および軟膏剤からなる群から選択される、請求項 11 ~ 15 のいずれか一項に記載の使用。

【請求項 19】

薬剤組成物が固体支持体を含む、請求項 18 に記載の使用。

【請求項 20】

損傷した皮膚または皮膚創傷の治療プロセスを誘導または促進するための局所適用用薬剤組成物であって、治療有効量のインスリンおよびインスリンと相乗的に作用する少なくとも 1 種のさらなる作用物質と、製剤上許容される担体とを含む薬剤組成物であり、該作用物質は、N - ミリスチル化 PKC 偽基質ペプチド、PDGF、IGF1、及び PKC RACK から選ばれる、損傷した皮膚または皮膚創傷の治療プロセスを誘導または促進するための局所適用用薬剤組成物。

【請求項 21】

低濃度インスリンの、損傷した皮膚または皮膚創傷の治療プロセスを誘導または促進するための局所への単回投与用薬剤組成物を製造するための使用。

【請求項 22】

低濃度のインスリンが、0.1 ~ 1 μ M 濃度である請求項 21 に記載の使用。

【請求項 23】

皮膚が、真皮である請求項 21 又は 22 に記載の使用。

【請求項 24】

損傷した皮膚または皮膚創傷の治療プロセスを誘導または促進するための局所への単回投与用薬剤組成物であって、低濃度のインスリンと製剤上許容される担体とを含む、損傷した皮膚または皮膚創傷の治療プロセスを誘導または促進するための局所への単回投与用薬剤組成物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 26

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 26】

